

調査ご協力をお願い

研究名：熊本地震発生後の急性脳・心血管疾患発生数と予後に関する研究

研究主任：熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学 辻田 賢一

連絡先：〒860-8556 熊本市本荘1-1-1

Tel 096-373-5175

阪神淡路大震災、新潟中越地震、東日本大震災などの教訓により私たちは避難生活において様々な病気が発症したり悪化することが分かってきました。熊本大学医学部附属病院循環器内科と神経内科では、熊本地震後が発生した後に脳・心血管系疾患の発症、死亡がどの程度起きているのか、またどのような経過をたどっているのかについて明らかにし、熊本県民ひいては全世界の今後の脳・心血管系疾患診療に役立てたいと考えております。そのためには熊本大学医学部附属病院と熊本県内の関連施設とが協力して疾患発生数、予後調査を詳しく調査する必要があります。

これは熊本地震発生後に急性発症した脳・心血管系疾患（心臓突然死、肺塞栓症、深部静脈血栓症、急性冠症候群、心不全、たこつぼ型心筋症、脳梗塞、不整脈、大動脈解離、けいれん、てんかん、高血圧）で入院された患者様全員が対象で、本研究参加施設の診療録に記載されている入院中、および退院後のデータを集積、使用させていただくこととなります。具体的には年齢、性別、病名、基礎疾患、発症日、発症時間、発症から入院までの時間、疾患の重症度、治療内容、退院日、入院中と退院後の予後に関する項目のみの調査です。疾患に応じた検査、治療は各入院施設で適切に行われ、本研究のための特別に侵襲的な検査等や治療介入をすることはありません。病状経過を調べるためにこちらから直接患者様にお電話させていただくことがありますが、個人が特定できる氏名やID番号はデータ上に残さず、研究の成果を公表するときにおいても個人情報が出漏することはありませんので、患者様に危険性や不利益は生じません。

本研究は熊本県、熊本市、厚生労働省、国立循環器病研究センター、熊本大学循環器内科、日本循環器学会などによる熊本地震血栓塞栓症予防プロジェクト（Kumamoto Earthquakes thrombosis and Embolism Protection Project: KEEP Project）のひとつとして行われます。厚生労働省、熊本県としても熊本地震被災者だけではなく全日本国民に震災後に起こりうる疾患に関する知識、予防の知識、発症時の対応に関する正しい知識を広めることが極めて重要としており、熊本県民をはじめ日本国民への啓発を進めていくうえでも本研究は重要と考えられます。本研究の研究結果は学会や論文などで発表すると同時に、マスコミを使って公表されることもありますので、震災後に発症した脳・心血管系疾患の現状を県民の皆様に広く知っていただければと願っております。

この調査への参加・不参加はご自由に判断されて構いません。不参加でも不利益が生じることは全くございません。しかし本研究の結果は熊本県のデータとして残されていきますので、精度の高い結果を得るためにも患者様全員の参加が重要になってきます。そのため本研究の参加施設は急性脳・心血管疾患に対応できる熊本県内の 21 施設です。得られた情報は厳密に管理され、本研究以外の目的で使用されることはありません。

本研究計画はアステラス熊本地震助成金によって行われる予定ですが、本研究に携わる全研究者によって費用を構成に使った研究が行われ、本研究の公正さに影響を及ぼすような利害関係はありません。

(参加施設)

- 熊本大学医学部附属病院
- 済生会熊本病院
- 熊本市民病院
- 熊本中央病院
- 国立病院機構熊本医療センター
- 熊本赤十字病院
- 熊本地域医療センター
- 熊本機能病院
- 熊本総合病院
- 熊本労災病院
- 阿蘇医療センター
- 公立玉名中央病院
- 荒尾市民病院
- 人吉医療センター
- 天草地域医療センター
- 上天草総合病院
- 国保水俣市立総合医療センター
- 山鹿市民医療センター
- 山鹿中央病院
- 熊本再春荘病院
- 杉村病院

計 21 施設